

教育目標の具現化（重点努力事項・具体的実践の評価事項・成果指標）
（御船町立高木小学校の例）

	重点努力事項	具体的実践の評価事項
自ら学ぶ子ども	◎授業の充実 学習過程「高木っ子の学び方」	○支持的風土のある学級づくりや学習の構え（学習の約束）を確立できたか。 ○めあて、中心活動、まとめを明確にした授業づくりができたか。（板書計画等） ○校内研修等を通じて、外国語活動の授業に自信をもって臨めたか。
	◎家庭学習等の充実	○ドリル学習や発展、予習等を組合せ、家庭学習の充実を図ったか。 ○TT等を全学級で進め、個に応じた指導を進めたか。
	○特別支援教育の充実	○一人一人の教育的ニーズに応じた合理的配慮に基づく指導・支援ができたか。 ○UDの視点（焦点化、視覚化、共有化）に基づいた授業に努めたか。
	○読書活動の推進	○児童一人一人の読書目標を設定させ、主体的な読書活動を進めたか。
	【成果指標】 ■全ての児童が、めあて、思考、まとめを整えたノートづくりができる。（国算理） ■全ての児童が、毎日、ドリル学習と自主学習をセットした家庭学習ができる。 （時間…学年×10分+10分、自主学習…復習、発展学習、予習） ■全ての児童が、外国語活動を好きになる。（校内研究） ■国・県の学力等調査において、半数の観点・領域等で平均を上回る。 NRT学力検査において、総合SSOOを上回る。	
心豊かな子ども	◎積極的な生徒指導の推進	【ポイント】 「重点努力事項」に対して「具体的実践の評価事項」、そして、「全ての児童が、～」のように「成果指標（数値目標）」が具体的に記載されています。
	○道徳教育の充実	
	○人権教育の推進	
	◎美しい環境づくり	
	【成果指標】 ■全ての児童が、「学校が楽しい」「高木小でよかった」と思う。 ■全ての児童が、元気に登校できる。（いじめ解消率100%、不登校0、無欠席日50%）	
たくましい子ども	◎体力づくりの推進	○始業前、業間、昼休み等に外遊びを奨励し、進んで運動に親しませたか。 ○新体力テストの結果を分析し、授業や全校体育等において体力を高めたか。
	○保健指導、食育の充実	○各種検診と取立指導、日常指導を関連的に進め、肥満等を改善できたか。 ○給食指導と「食」に関する指導を充実させ、食生活を向上できたか。
	◎安全教育、防災教育の徹底	○安全・環境衛生点検の充実と事後措置の徹底ができたか。 ○危険箇所等の把握や指導、不審者に対する指導が徹底できたか。 ○「自分の命は自分で守る」という危機対応能力の育成ができたか。
	○健康的な生活習慣の確立	○早寝早起き朝ごはん、歯磨きの定着、メディア時間の減少が図れたか。（家庭との連携）
	【成果指標】 ■全ての児童が、毎日、元気に遊ぶ（運動する）。 ■新体力テストにおいて、半数以上の項目が県平均を上回る。	
夢をかなえる子ども	◎キャリア教育、ふるさと学習の充実	○めあて学習、生き方学習等、学年に応じたキャリア教育を推進できたか。 ○地域のよさ（もの、ひと、こと）を生かした「ふるさと学習」が充実できたか。
	【成果指標】 ■全ての児童が、夢や目標を設定し、達成に向け努力する。	
連携	○家庭、地域等との連携	○学校運営協議会を核に保護者、地域、関係機関等との連携協力ができているか。 ○適切な学校評価を実施し、不断の改善に努めているか。 ○幼・保、中学校等との適切な情報連携－行動連携－目標連携ができているか。
	【成果指標】 ■全ての児童が朝食を取り、児童の2/3が午後10時までに就寝する。	